

川崎市自動運転バス、市内最大の拠点駅周辺で新たな実証実験！

－川崎駅と市立川崎病院を結ぶ川崎病院線で初の自動運転レベル2の実証開始－

この度、川崎市は、令和8年1月8日(木)から1月29日(木)までの期間において、市内最大の拠点駅である川崎駅前と市立川崎病院を結ぶ「川崎病院線」で初となる自動運転レベル2の実証実験を開始します。

「川崎病院線」の乗車予約は12月23日(火)10時から開始しますので、この機会にぜひ、自動運転バスの魅力と技術を御体験いただき、未来の移動をお楽しみください。

なお、実証期間中は運行経路上での安全確保と路上駐車防止の啓発のため、複数のメッセージ横断幕を沿線に設置するなど、安全で円滑な運行に向け、運行ルート周辺での路上駐車を控えていただく呼び掛けを行います。

※レベル2…システムがアクセル・ブレーキ及びハンドルの両方を部分的に操作し、運転手を補助する自動運転

川崎病院線 実証運行の概要

- ・ 運行期間：令和8年1月8日(木)～1月29日(木)
※16日(金)及び土日運休。ただし10日(土)、25日(日)は運行。詳細は「予約」に記載の市HP参照
- ・ 運行時間：9時台～15時台(8往復/日)
※運行ダイヤは「予約」に記載の市HP参照
- ・ ルート：川崎駅前～市立川崎病院間(途中停留所なし)(下図参照)
- ・ 運賃：大人、小人 200円/回
※通常運賃100円に着席保証料金100円を加算した金額です。
- ・ お支払い：現地にキャッシュレス決済 ※現金は使用不可
(交通系IC、クレジットカード(タッチ決済のみ))
- ・ 車両：中型バス Minibus 2.0
※初心者マークをイメージした黄色と緑色でラッピングを行っています。
- ・ 定員：1便あたり13名
- ・ 予約：予約は12月23日(火)10時から、川崎市自動運転バスホームページの予約フォームにて受付を開始します。なお、試乗には、往路・復路それぞれ予約が必要です(先着順)。
※川崎市自動運転バスホームページ(市HP)

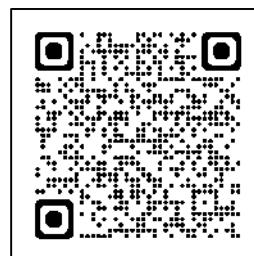
<https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000167580.html>



中型バス Minibus 2.0



運行ルート図



市自動運転バス HP

・特徴：本実験では主に次の3つの検証をします。

① 技術面

- ・多くの路上駐車や自転車等が走行する道路環境における路上駐車回避技術の検証
- ・複数車線における車線変更技術の検証
- ・信号の残時間を自動運転バスに送る信号連携装置を川崎駅前南交差点などの3個所に設置し、安全かつ円滑な自動運転走行の検証

② 事業性（料金）

- ・通常運賃 100 円のバスにおいて、着席保証料 100 円を加えることによる事業性の検証
- ・羽田連絡線の結果と合わせて、価格の受容性を検証

③ 社会受容性

- ・実証実験期間中における複数のメッセージ横断幕の設置による路上駐車防止の検証
- ・地域一体の取組として、車内放送（録音）を運行ルート上の川崎市立宮前小学校 5 年生が実施

・運行事業者：川崎鶴見臨港バス株式会社

クラウドファンディングについて

自動運転バスのクラウドファンディングを令和8年1月31日まで行っています。この試乗の機会と合わせて皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

・ふるさとチョイス GCF ホームページ

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/4457>

KAWASAKI L4 Bus Project について

川崎市は、令和9年度の自動運転バスのレベル4※実装を目指して、「KAWASAKI L4 Bus Project」を進めています。

本年9月から開始した大師橋駅（川崎区）と天空橋駅（東京都大田区）を結ぶ「羽田連絡線」での実証実験は、レベル4実装に向けた重要なステップとして、安全かつ無事故で38日間運行しました。

本実証実験で走行する川崎駅前には、1日約30万人が往来するエリアであり、歩行者、自動車、自転車が混在する、より難易度が高く実用性の高い環境下での実証となりますが、「羽田連絡線」での成果を踏まえ、安全かつ着実に運行してまいります。

※レベル4…場所や天候、速度などの特定条件下で、システムが車の全ての運転操作を担う完全自動運転

問合せ先
川崎市まちづくり局交通政策室 藤島
電話 044-200-1485